

## 第5章 整備の進め方

### 5-1 優先整備

選定路線について、表 5-1 の優先整備等の視点を基に整備を進めていきます。

なお、整備する距離や期間については、予算の状況に応じて検討するとともに、整備の進捗を図る観点から、必要に応じて交差点を重点的に整備することも視野に入れて進めます。

表 5-1 優先整備等の視点

視点	路線の特徴	主な路線
車道への転換 効果が高い	<ul style="list-style-type: none"><li>・路肩幅員が広い</li><li>・一車線当たりの自動車の交通量が少ない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・大通（北）</li><li>・大通（南）</li></ul>
ネットワークの 早期形成が可能	<ul style="list-style-type: none"><li>・既設自転車通行空間に繋がる</li><li>・都心部の中央を縦横断している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・西 5 丁目線</li><li>・西 7 丁目通</li></ul>
他の取り組みとの 連携効果あり	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後完成する駐輪場の近辺</li><li>・歩道のバリアフリー工事等の予定あり</li><li>・荷さばき対策が行われる区域内</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・南 2 条線</li><li>・南 3 条線</li></ul>

### 5-2 整備後の更新

矢羽根型路面表示は、車両の通行や除雪等の影響によって、汚れたり薄くなったりしてしまいますので、それまでの整備効果（車道転換効果及びドライバーへの啓発効果等）を見極めながら、予算の状況に応じて塗り直す箇所を選定し、更新していきます。

### 5-3 ルール・マナーの周知啓発との連携

札幌市や関係機関が取り組んでいる、次のような交通安全に関わる啓発活動と連携して、整備効果を高めていきます。

#### (1) 街頭指導（マナーアップキャンペーン等）

札幌市や北海道警察が共同で実施している街頭指導を、整備を行った路線で実施することにより、自転車通行ルールの遵守を促します。



街頭指導（マナーアップキャンペーン）の様子

#### (2) 交通安全教室

札幌市等が高校生を対象として実施しているスケアード・ストレートによる自転車交通安全教室や、町内会や企業などの団体を対象として実施している出前講座（交通安全教室）で、矢羽根型路面表示の意味を理解してもらい、自転車通行ルールの理解を促します。



スケアード・ストレートや交通安全教室の様子